

ハンケイ

5

手をのばせばすぐふれられる。そんな世界を知るマガジン

m

5

5

FEATURE

HiroGeTai

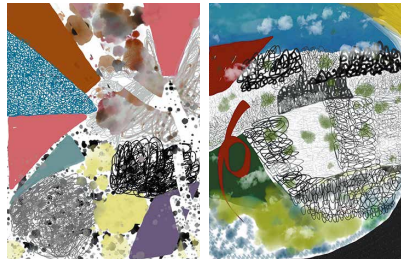
佐藤紘子 さん
たいぞう さん

Youtuber

かずえちゃん

COVER ART OF HANKEI5m

今号の表紙アート



「UTAU-うたう-」MANA さんの作品

今号の表紙アートは、京都市南区の就労継続支援B型施設「UTAU-うたう-」に所属するMANAさんの作品です。タイトルは『噴火 KAZAN』(左)と『地球』(右)。『噴火 KAZAN』は、当時悩みや不安を抱えていたMANAさんのモヤモヤした気持ちと、「いつか明るくなりたい」という希望が、画面いっぱいに表現されています。『地球』は、地球環境の悪化に対する警告を表した作品です。黒い線の描写は、人や家を表現。緑がまばらにあしらわれ、左側の赤いマークが危機感を煽っています。

MANAさんが絵を描き始めたのは約1年前、35歳のときでした。小学生の頃、絵で賞をもらった記憶がうっすらと残るものの、以降は全く絵を描いてこなかったそうです。UTAUの所属をきっかけに、創作活動をスタートしました。作品はiPadで制作。画面に向き合い、その時描きたいと思ったものを一心不乱に形にしていきます。UTAUでは、午前中に絵を描き、午後からは1階のカフェで接客をこなします。「自分のペースで無理なく働けていることがとても嬉しいです。社会と馴染める実感があります」と話す、MANAさんの笑顔が印象的でした。

UTAU online shop
(MANAさんの作品を使用したアイテム紹介ページ)



ハンケイ 5^m vol.5

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

CONTENTS

表2……………ハンケイ 5m ショップ
イベント開催情報

FEATURE 1

02……………佐藤 紘子さん

たいぞうさん

人を楽しませるアートを届ける
コラボユニット「HiroGeTai」

FEATURE 2

06……………かずえちゃん

LGBTQに関する情報発信をする
YouTuber

10……………俊朗の映画話

薬剤師 DJ の音楽論

11……………ホホホのすすめ

人形つかいパペの話

12……………駅の昇降機、ご存知ですか？

ポレポレ主催「居場所紹介フェス」
ハンケイ 5m オフィシャルサポーター

13……………ハンケイ 5m vol.5 発行にあたり

RECOMMENDED CINEMA



ハンケイ 5m ショップ クリスマスイベント開催！



京都・四条烏丸にある、ハンケイ5mショップでは、12月4日からクリスマスモード一色になります。

店内にはクリスマスのお菓子やアイテムが並び、ワークショップも開催されます。

最新情報は各種SNSにて発信中！ぜひフォローしてください。



ハンケイ 5m ショップ
Instagram
@hankei_5m_shop



ハンケイ5mショップ公式LINE

オンラインショップ・入荷情報は
こちらをチェック！



12/4~ 銀雪の里 クリスマス展示会

奈良きたまちに工房を構える「銀雪の里」。造形作家・岡本彩さんが手掛けるイッチン技法の陶芸作品と、アイシングクッキーが人気です。今回の展示会では、クリスマスマーケットをイメージし、お馴染みのクッキー缶はもちろん、クリスマスオーナメントの焼き菓子やヘクセンハウス、クグロフ、クリスマスモチーフの器などが所狭しと並びます。気に入った器やお菓子は購入することも可能です。(入場無料)



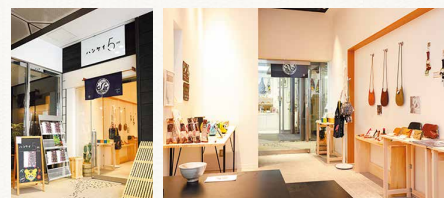
12/7 爪に優しいネイル&テーブルでする茶道 「盆略点前」体験ワークショップ

ワークショップの中でも大好評の水性ネイル「シェルズコート」のワークショップ&テーブルでする茶道「盆略点前」体験が12月にも開催決定！このネイルは貝殻と卵の天然素材からできていて、ネイル特有の刺激臭がありません。お湯でオフでき、爪が痛まないのも特徴です。テーブルでする茶道「盆略点前」体験では、茶道裏千家助教授・田中賀鶴代先生によるクリスマス抹茶茶碗のコレクションを使用して、抹茶とお菓子を楽しめます。

①11:00～ ②13:00～／定員：各回3名、ネイルボトルとバッファーツき

講師：Nail for all 田中志津さん／参加費：2,500円(税込)

お問合せ・お申し込み：080-1475-3370 (店長：谷田)



ハンケイ 5m ショップ

京都市下京区烏丸通り四条下ル
からすま京都ホテル内1F
(京都市営地下鉄「四条駅」南出口6番 徒歩1分、
阪急「烏丸駅」西出口23番 徒歩1分)
OPEN 10時～15時 土曜のみ18時まで営業
CLOSE 火、木、日／TEL.080-1475-3370

10月のイベント情報は、
本誌P5に掲載！



FEATURE 1

美術作家×芸人アーティストによる
「人を楽しませる」ポジティブなアート。
京都初の絵画展を開催するコラボユニット
「HiroGeTai」。

美術作家

佐藤紘子さん

芸人アーティスト

たいぞうさん



「作風も性格もちがう二人。
でも、『人を楽しませたい』気持ちは同じ」

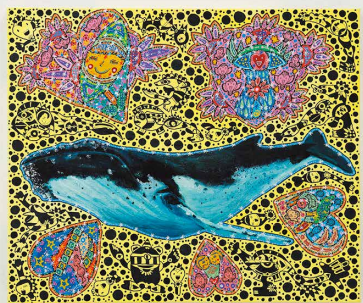
日々の生活の中で見つけた素材をテーマに絵を描き続けている美術作家の佐藤紘子さんと、吉本興業の芸人アーティストで大阪府障がい者芸術・文化大使も務めるたいぞうさんのコラボユニット「HiroGeTai」（ひろげたい）の絵画展が10月2日から、京都市下京区の烏丸京都ホテルFにあるハンケイ5mショップで開催される。京都では初めてとなる今回の絵画展は、初公開となる新作を中心に十数点を出版。思わず笑顔が広がるような、2人の個性が調和したポップでポジティブなアート作品との出会いを届ける。絵画展の開幕を前に「HiroGeTai」の佐藤さんとたいぞうさんに、作品に込めた思いを聞いた。

「HiroGeTai」を結成されたきっかけを教えてください。

たいぞう…昨年12月に大阪上本町の近鉄百貨店で、僕とコント集団「ザ・ニュースペーパー」の福本ヒデさん、佐藤紘子さんの絵を集めた「3人展」という作品展を開いたんです。それをきっかけに色々、作品にまつわる深い話もするようになり「次はユニットで、一緒にしたいですね」とお誘いしたんです。

佐藤…私は京都市立芸術大学大学院修士課程で油画を専攻し、美術作家として活動してきました。「見た人みんなが笑顔になるような、子どもも大人も楽しめる絵を描くこと」を大切に絵を描いています。

たいぞうさんとは、絵に関するバックボーンも作品の個性も全然違うんですが、「人を楽しませる」という部分で共通するものを感じました。たいぞう…僕は芸人出身なので、人を



《幸せ探しの旅》F8

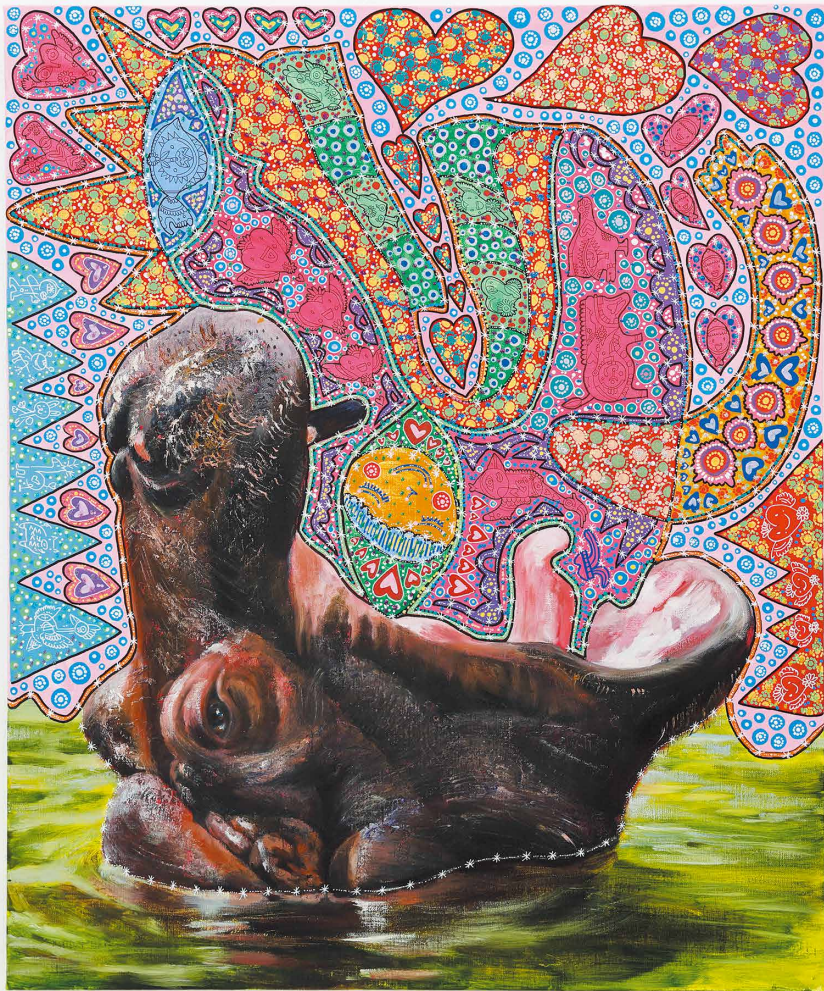


《何事もタイミング》S0

笑顔にしたり、楽しんでもらいたいという気持ちはずごく強いです。紘子さんの作品は、絵から「キャラ」が出ているのがすごい。紘子さん自身が出る作品を描いているから、見に来た人が一発でファンになるんですよ。お笑いで例えるなら、ライブ

がちゃんとできているということ。僕も紘子さんの絵に出会うまでは、自分の絵を見に来てくれた人になっペリかけて、「とにかくファンになってもらおう」と思っていた部分もあったんですが、今は「まず絵を見てもらおう」と考えが変わりました。

人生は波がある。それも含めて絵を描くことを楽しみたい。



《幸せ探しの旅》F6

佐藤…私は逆に、しゃべりが苦手なので。「私としゃべるより、作品を見せてくれ」みたいなところがあります（笑）。

―なるほど。お二人の作品も性格もお互いに違うタイプだけれど、絵に込めた思いの部分が共通しているからこそ、ユニットとして活動することで新たな可能性が開花しているですね。

佐藤…「ユニットを結成しよう」という話は、3人展が終わってすぐの頃から相談していたんです。新型コロナ禍の影響でちょうど春先の日程が空いたこともあって、「よし、やろう」という感じで、半ば勢いで決めました。

せっかくなら興味のある方にじっくりと作品を見てもらいたいと思い、高槻市にある古民家ギャラリーで4月にユニットとしての初の個展を開催しました。ユニット名の「HiroGeTai」は、佐藤絃子の「ひろ」と、たいぞうの「たい」にちなんで私が名付けました。「笑顔を広げたい」とか、これからいろんなテーマで作品制作ができそうだな、という思いも込めています。

―今回の京都での作品展は新作を

中心に出展されるということで、現在も制作活動の真っ最中そうですね。ユニットとして合作で絵を描く時は、どのように制作を進めているのですか？

たいぞう…「構図やサイズをきっちり決めて制作に取り掛かる」というのではなくて、まずはゆるくテーマを決めて、とりあえず描いていく。制作の前にミーティングをしてある程度の方角性は相談しているんですが、実際描いていると全然違うものになることも（笑）。制作が進むにつれてイメージが膨らんでいくとお互

いの感じ方も変化していくので、その変化も楽しみつつ仕上げていきます。

佐藤…たいぞうさんが先に描いたり、私が先だったり、作品によって順番が違います。例えば右のカバの絵は、私が先にカバを描いて、その次に背景をたいぞうさんが描きました。ユニットでの制作は「絵を通して問いかけて、描いてその間に答える」という、対話のような感じもありますね。私は現実にある形や色を描きたいタイプなんです。私の描いた現実的な色と、たいぞうさんの

描く多様な色の背景が合わさって、「HiroGeTai」らしい立体的な奥行きを生んでいると思います。

―ハンケイ5mショップで「HiroGeTai」ならではのオリジナルな絵に出会えるのが、本当に楽しみです。

たいぞう…僕は、好きなことを死ぬまでできるのが一番幸せやと思っているんですよ。人生って波があるじゃないですか、上がったりがったり。そういうことも含めて自分の絵で表現して、絵を描くことをずっと

楽しんでいきたいです。心が欠けている時って、辛いですよ。その心の欠けているところに僕たちの絵が寄り添って、見た人が少しでも楽になったらいいと思います。

佐藤…「HiroGeTai」の作品は、美術館じゃなくて、自分の家に飾りたくなるような楽しい絵を目指しています。絵を見た人がちょっとでも何かを感じて、コミュニケーションや会話が生まれるきっかけになれば嬉しいですね。京都でのユニット展で、絵を通して新しい出会いが生まれればいいなと思います。



佐藤 絃子
美術作家。2014年京都市立芸術大学大学院修士課程油画専攻修了。大阪・高槻のアトリエを拠点に、個展・グループ展で作品を発表、ワークショップを開催している。日々の生活の中から素材をすくい集め、絵画を制作。主なモチーフは、動物・子ども・顔のついた食べ物。そのものの存在であったり、本能を描く。2013年神戸ビエンナーレペインティングアート展大賞受賞。
Twitter
https://twitter.com/Hiropiro1210/
instagram
https://www.instagram.com/hirokosato1210/



たいぞう
吉本興業所属の芸人アーティスト。大阪NSC11期生。吉本新喜劇を経て、ABC「クイズ!紳助くん」をきっかけに、絵の才能が開花し、現在は芸人と画家の二足のわらじで活躍している。大阪府障がい者芸術・文化大使や観音寺市ふるさと応援大使を務める。
Twitter
https://twitter.com/taizougahaku
Instagram
https://www.instagram.com/taizouyoko

佐藤絃子×たいぞう コラボユニットHiroGeTai個展

【期間】2022年10月2日(日)～31日(月)(定休日:火・木・土)

【時間】平日:10時～15時 ※日曜:10時～18時

【場所】ハンケイ5mショップ

(京都市下京区烏丸通り四条下ルからすま京都ホテル1F)
地下鉄烏丸線「四条駅」6番出口、阪急「烏丸駅」西出口23番すぐ

【入場料】無料

会期中、ワークショップも開催予定!

たいぞうワークショップ「enocoの塗り絵」&茶道体験

【日時】10月16日(日)11時～12時 【定員】20名

【参加費】2500円 【場所】からすま京都ホテル3F 山水の間

佐藤絃子ワークショップ「ポーチに描く」&茶道体験

【日時】10月14日(金)①11時～②13時～

10月30日(日)③11時～④14時～

【定員】各回定員3名 【参加費】2500円

【場所】ハンケイ5mショップ

京都国際映画祭2022連携企画

ご予約は、
ハンケイ5mショップ
公式LINEまで。



音楽療法センターごっこ×HiroGeTaiコラボ作品も展示!

音楽療法センターごっこ(運営:本誌発行の株式会社アドナース)に通過

子どもたちがキャンパスに描いた2点の絵。

そこに、佐藤絃子さんとたいぞうさんが絵を描き加え、

完成させたコラボ作品も展示されます。お楽しみに!



「そのままでいい。 信頼する父からの肯定が、 何より嬉しかった」

『LGBTQ（性的少数者）』や『カミングアウト』という言葉が、この世界からなくなってしまうばいと思っと思っています」。

穏やかに明るく語られる言葉には、つとした。自分自身のセクシャリティを隠さない「オープンリー・ゲイ」のYouTuberとして、「かずえちゃん」の名前で活動している藤原和士さん。言葉の奥に、静かな熱が満ちている。

偏見や無関心がもたらす差別や断を超えた先に、新しい世界は広がっている。そう信じて一歩を踏み出した時に、かずえちゃんの旅が始まった。痛みや悲しみや絶望ではなく、優しさや喜びや希望とともに語り合える世界へ向けて。YouTubeで配信している動画は、自身による旅の記録でもある。

小学5年生で抱いた違和感

「バレたら終わり」

福井県福井市の生まれ。妹2人の3人兄妹の長男として、共働きだった両親と、家族5人で暮らす賑やか

な家庭で育った。

「一番初めに『自分は周りの子とちよつと違うな』と感じたのは、小学5年生の時でした」。

思春期にさしかかり、クラスの雰囲気微妙に変化し始める時期。男子は女子の、女子は男子の目を意識しているような行動が増えてきた。「でも自分には、それが全然理解できなかった」。

女子を好きになるという気持ち「分からない」。なぜだろうと考えているうち、「自分は、男の子を見ている」と気づいた。

「その瞬間、『これは絶対にバレたらあかん。バレたら終わりや』という恐怖感が湧き上がってきました」。

かずえちゃんが思春期を過ごした1990年代の初め頃、当時人気のバラエティ番組で、同性愛を嘲笑するようなコントが流れていた。「オカマ」や「ホモ」という言葉とともに、それは「気持ち悪いこと」として「笑い」の対象にされていたのだ。

ある日、教室で男子がふざけて、そのコントの真似をした。担任の男性

教師が笑いながら「お前らホモか」と言うと、「違う！ 気持ち悪い！」と彼らは笑い声を上げて、互いに離れた。

「子どもにとって、教師の言動は大きな物差しになります。『男が男を好きになるのは、気持ち悪いことなんや。治さないとあかん』と思い込んでしまった。自分自身に対してすごく否定的でした」。

「よくいる男の子」の仮面を被り、暗いトンネルを手探りで進むような青春時代を過ごした。

自分と同じ世界の 人との出会い

「……」

地元の高校を卒業後、かずえちゃんは、結婚式場のウェディングプランナーになる。人生の門出を迎える新郎新婦のために、最高の結婚式を作り上げる仕事だ。特に理由もなく選んだ仕事でした。当時は結婚といえば男女のもので、『もし自分なら』と想像したこともありません。何か別の箱の中の出来事のように感じていました。知識がないときは、悲し



YouTubeチャンネル「かずえちゃん」動画のサムネイル画像。

差別や偏見、無関心が、すぐ隣にいるはずの人たちを「見えづらい存在」にしている。

むともできないんです」。

孤独感が募る中で見つけたのが、ゲイが集うインターネットの掲示板だった。

「『福井にも、自分と同じ人がいるんや』って嬉しくなりました」。

掲示板で出会った男性と、ひと月ほどメールのやりとりが続いた後、会うことになった。「すごくいい人でした。ドーナツショップで初めて会って、雑誌を見ながら、『この人かっこいいよね』とか、みんなが何気なく学校で会話するようなこと、色々話しました」。

掲示板を通してコミュニティの輪は広がり、24歳の時に初めてパートナーが出来た。「大好きになったんです。恋愛ってこういうことかって実感しました。その人を、家族に紹介したいという気持ちが日に日に強くなってきて、もう嘘をつきたくないと思ったんです」。その年の暮れに、まず家族に打ち明けることを決めた。

自分を肯定してくれた、父の言葉

長男は家を継ぎ、親に孫の顔を見せるのが務め、それを果たせない自

分は、長男として申し訳ない——。ずっと、そう思ってた生きてきた。「実は僕は、男の人が好きなんです」とカミングアウトした時、「ごめんなさい」と謝ってしまった。かずえちゃんの話最後まで聞いてから、父が言った。

「何があるうと、お前は俺たちの息子やから。だから、堂々と生きろ。謝ることなんか、全然ないぞ」。

そのままがいい。父は自分という存在を肯定してくれた。「自分の中に柱が立ったようでした。信頼する両親に認めてもらえて、これでいい

誰もがマイノリティであり、マジョリティ

「この国では、ゲイであることを隠

さずに生きよう」。2005年に同性婚が認められたカナダでは、かずえちゃんのこと、当然のこととして受け入れられた。一方で、欧米の社会ではアジア人がマイノリティの立場に置かれていると感じることも少なくなかった。「日本では、ゲイである自分はマイノリティだと思っていました

が、カナダでは違った。でも違うところではマイノリティを感じました。人間は誰しも、どこに身を置かによって、マイノリティにもマジョリティにもなる。そう気付いたことは大きな成長でした」。

変わらないのは、自分が自分であるということ。僕は僕のままでいいし、あなたはあなたのままでいい。LGBTQは身近にいるし、僕たちは一人じゃない。そして、この世界は、僕たちみんなに開かれている。

10人に1人、でも「見えづらい存在」

かずえちゃんはカナダから帰国後の2016年7月から、YouTube配信をはじめ。国内外のプライド・パレードの様子やLGBTQ当事者へのインタビュー、かずえちゃんと家族との関わりなど、自身で撮影・編集した動画を紹介している。チャンネル登録者数

は9万6000人、これまでの動画の総再生回数は3400万回を超えた。日本ではおよそ10人に1人という調査結果もあるほど、LGBTQは身近な存在だ。だが、いまだに無くない差別や偏見、そして大多数の無関心が、すぐ隣にいるはずの人たちを「見えづらい存在」にしている。

「僕は差別や偏見に触れる度に、いっしょに痛みを慣れていった。でも、もういい加減にやめにしたんです。痛みに鈍感にならず、声を上げ、アクションを起こさないと、何も変わらない。だから僕は、YouTubeで発信し続けます」。

小学5年生だったあの日、教室の中に立ちすくみ、たった一人で孤独感を抱えていた自分へ。そして今、同じように孤独と絶望に押しつぶされそうになっている人たちに、伝えたい。

「自分が自分であることは、当たり前のこと。誰もが持っている『その人らしさ』が尊重され、堂々と生きていける社会に変えていきたい。そんな未来を、みんなで一緒につくりたいと思っています」。ゆっくりでも、ともに歩む足跡が、やがて道を開くと信じている。旅はまだ、路上にある。

かずえちゃん(藤原 和士)
小学生の頃から同性に好意を抱くようになる。現在はLGBTQに関する情報発信のため、YouTubeチャンネルの開設や三洋化成工業(株)とのイベントなど、精力的に活動中。本誌『ハンケイ5m』でも、LGBTQ当事者による性的マイノリティ啓発コラム「かずえちゃんの伝えたいこと」を随時掲載。



「京都レインボープライドパレードフェス2022」に参加した様子。左下に、かずえちゃん。



ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

vol.5 発行にあたり

自分が自分らしく生きていく。
そうなれたきっかけを
多くの人に共有してくださる人。
この本で、そんな人にたくさん出会えて嬉しい。
円城新子(編集)

しんどさを言語化するのって、
簡単なことじゃない。
言語化される前に察知できる「感受性」は、
「ハンケイ5m」へめぐらせる想像力で、
きっと育つ。
呉玲奈(編集)

何事も勉強が大事！
目の前の人を理解するために
デリケートな話もしたいから。
山田梨世(編集)

言葉の隙に打たれた痛みを、
今、希望を紡ぐ言葉に変えよう。
龍太郎(ライター)

シックで絶妙な色・形の配分が美しい、
今号表紙の三宅さんのペインティング。
十人十色、進化する個がテーマの本誌に
まさにふさわしいですね！
森 華(デザイン)

同じ人間は一人としていない。
じゃあ、
『知る』ことから始めよう。
辻正美(カメラ)

佐藤さんとたいどうさん、
全く違う作風なのに
心地よく融合された作品。
眺めているとワクワクしてきます！
北原靖浩(デザイン)

昔は気軽に発していたが、
今は口にするのを憚る言葉がある。
ガイジン、コジキエンビツ、オカマなどなど。
たかだか30年ほどで、この違和感！
言葉は時代を反映する生き物だな。
中山みゆき(編集)

いろんな自分が集まって、
「自分らしさ」ができている。
鈴木穂乃(編集)

ハンケイ5m

手をのばせば
すぐふれられる。
そんな世界を知るマガジン

2022年10月5日発行

発行 株式会社アドナース
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10
075-754-6174
株式会社union.a
京都市左京区北白川西平井町22-2
075-724-0410

企画・制作 株式会社union.a

Staff 円城新子
呉玲奈
中山みゆき
山田梨世
鈴木穂乃
龍太郎
辻正美
北原靖浩
もりはなぐみ

スペシャルアドバイザー 鎌田智広

RECOMMENDED CINEMA

京都シネマおすすめ映画



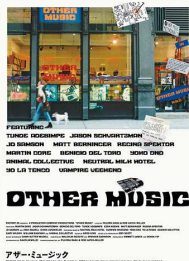
10/21(金)公開
夜明けまでバス停で
2022 | 日 | 91分
監督: 高橋伴明
出演: 板谷由夏、大西礼芳、
三浦貴大、松浦祐也、
ルビーモレノ、片岡礼子

©2022『夜明けまでバス停で』製作委員会
<https://yoakemademovie.com/>

2020年冬に起こった渋谷ホームレス殺人事件をモチーフに
コロナ禍で助けを求められない人々が、いやおうなしに“社会的
孤立”に追い詰められていく様を描く。『痛くない死に方』の
名匠・高橋伴明監督が、「今、これを世の中に発信しなければ」
という強い想いでシリアスなテーマに挑んだ。もしかしたら
明日、誰しもが置かれるかもしれない状況の前に、深く考え
込んでしまう。

上映情報のご確認はこちら
京都シネマ www.kyotocinema.jp
📍京都市下京区烏丸通四条下西側 COCON 烏丸3F ☎075-353-4723

京都みなみ会館おすすめ映画



10/28(金)公開
**アザー・
ミュージック**
2019 | 米 | 85分 |
監督・製作: プロマ・バスー、
ロブ・ハッチ=ミラー

© 2019 Production Company
Productions LLC

一介の音楽ファンの友人同士がニューヨークにオープンしたレ
コード店「アザー・ミュージック」。音楽好きを唸らせる圧倒的な
品揃えだけでなく、ミュージシャンや画家、映画監督、俳優などさ
まざまな人々が垣根を超えて集い、音楽や芸術、人生について
語り合い、新たなムーヴメントが発生する唯一無二のコミュニ
ティでもあった。2016年に惜しまれながらも閉店してしまったこ
の伝説的レコード店の最後の日々に迫ったドキュメンタリー。

上映情報のご確認はこちら
京都みなみ会館 <https://kyoto-minamikaikan.jp/>
📍京都市南区西九条川原城町110 ☎075-661-3993

HANKEI 5M OFFICIAL SUPPORTER

私達がハンケイ5mを応援しています！



京都ではたらく人々に
ライブな福利厚生を提案しています。
(公財)京都中小企業振興センター
www.kpc.or.jp

ハンケイ5m 設置・サポーター募集について

『ハンケイ5m』をもっと多
くの方に手に取っていただ
けるよう、新規設置場
所を随時募集しています。
また、『ハンケイ5m』の価
値観に賛同してくださるサ
ポーター企業様・団体様
を募集しています。(一口
5万円～)お問い合わせ
は、info@hankei500.com まで。



10月15日(土) ポレポレ主催「居場所紹介フェス」開催！

コロナ禍を経て、不登校の子
どもたちが増えています。京都
市内の学校に行きづらい・合
わない子どもたちや、スペシャ
ルニーズをもつ子どもたち、ま
た、その子どもたちを支える大
人たち。そんな方たちを支援す
る団体の集まりが「京都・子ど
ものミライ作り ポレポレ」です。
「居場所紹介フェス」では、「子
どもの居場所・親の会・保護者
勉強会」の活動を行う13の団
体が一堂に会します。以下の
QRコードから申し込みの上、
ぜひ足を運んでみてください。



居場所フェス2022
参加申し込みフォーム
※事前申込要



京都・子どものミライ作り

ポレポレ



【日時】2022年10月15日(土) 13:00～16:00 ※時間内いつでも出入り自由。
★13:00～13:30 ポレポレ所属団体の代表者によるパネルトーク有

【会場】京都信用金庫QUESTION 7階会議室
(京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町390-2)



× *union.a*